

2024年度 教育計画

弘前大学医学部附属病院看護部

レベル	研修名	対象	領域	内容	ねらい	開催月
ラダーレベルⅠ	基本的な看護技術(1)	卒後1年目看護職員	看護実践	感染予防技術(手指衛生, PPE) 清潔援助技術(陰部洗浄, おむつ交換, 寝衣交換) 活動休息援助技術(車椅子・ストレッチャー移乗・移送) 症状・生体機能管理技術(バイタルサイン)	①看護基礎教育での学びをReviewし, ケアの留意点について学ぶ ②職場で早期に体験が予測される技術の手順や留意点について学ぶ	4月
	基本的な看護技術(2)			症状・生体機能管理技術(真空採血法, 血糖測定) 与薬の技術(輸液法) 安全確保技術(確認行為, 誤薬防止)		4月・5月
	基本的な看護技術(3)			感染予防技術(針刺し防止, 滅菌物の取り扱い, 無菌操作) 症状・生体機能管理技術(症状の観察と報告・連絡・相談) 与薬の技術(薬の基礎知識) 症状・生体機能管理技術(検体の取り扱い)	夜勤に向けて必要な基本的技術・知識・態度や業務について学ぶ	5月
	基本的な看護技術(4)			呼吸・循環を整える技術(酸素吸入と吸引)		6月
	基本的な看護技術(5)			与薬の技術(輸液ポンプ・シリンジポンプ)		6月
	基本的な看護技術(6)			排泄援助技術(膀胱留置カテーテル)		7月
	基本的な看護技術(7)			食事援助技術(経腸栄養法) 排泄援助技術(洗腸) 創傷処置技術(褥瘡予防, ドレッシング材の使用法)	日常業務に必要な基本的技術・知識・態度について学ぶ	8月
	基本的な看護技術(8)			創傷処置技術(ドレーン管理) 死後のケア 与薬の技術(輸血の知識) メンタルヘルス		9月
	基本的な看護技術(9)			呼吸循環を整える技術(呼吸生理, パルスオキシメーター, 酸素療法) 救命救急処置(意識レベル, BLS, 気管挿管の介助) 症状・生体機能管理技術(心電図およびモニタリング)	急性期看護に必要な技術・知識・態度について学ぶ	10月
	基本的な看護技術(10)			業務管理:多重課題	優先度を考えた業務の組み立てや調整方法について考える	11月
	看護過程(1)			情報収集とデータベース	情報収集からデータベース作成の過程を学ぶ	6月
	プリセプティ研修			記録の実際と評価	自己監査し, 不十分な部分を明らかにする	12月
	看護技術シミュレーション			事例紹介と課題の明確化	自分の看護を振り返り, 次年度の課題を見いだせる	2月
				知識・技術・態度の習得状況の評価	模擬体験することにより, 状況に即した対応について学ぶ	12月
ラダーレベルⅡ	診療の補助業務技術(1)	卒後2年目看護職員及び看護職員	看護実践	検査に関連する:症状管理, 感染防止, 安全確保	検査についての知識と診療補助業務のスキルを磨く	6月
	診療の補助業務技術(2)			静脈注射に関連する:与薬技術, 感染防止, 安全確保	①静脈注射に関する知識と技術を学ぶ ②薬剤の基礎知識を高め, 安全な与薬業務や患者指導ができる	6月
	看護形態機能学	卒後2年目看護職員及び看護職員		看護形態機能学を活用したヘルスアセスメントと看護介入	日常生活行動の視点からヘルスアセスメントを学び, 早期回復に向けた看護援助・支援方法を実施できる能力を養う	9月
	看護形態機能学フォローアップ	卒後2年目看護職員及び看護職員(看護形態機能学受講者)		看護形態機能学を活用した事例検討	日常生活行動の視点からヘルスアセスメントし, 看護実践を再考できる	1月
	フィジカルアセスメント	卒後2年目看護職員		フィジカルアセスメント:意識レベル/胸部・腹部/瞳孔/MMT	現場で活用できるフィジカルアセスメントのコツを学ぶ	11月
	看護過程(2)	卒後2年目看護職員		事例検討	事例を通して看護過程を検証する	10月
	看護過程(3)	卒後3年目看護職員及び看護職員		クリティカルシンキングと看護診断	アセスメント能力を高め, 適切な看護診断を導く	7月
	看護倫理Ⅰ	卒後2年目看護職員		自己育成	看護倫理の基礎知識, 倫理的感受性	提供している看護を倫理という側面から振り返り, 倫理的感受性を高める
看護研究(1)	卒後3年目看護職員	研究	EBNリサーチ報告会	提供している看護のエビデンスを検索する	8月・11月	
ラダーレベルⅢ	がん看護実践者育成	指導的立場を担える人	看護実践	がん看護:基礎編/ステップアップ編	根拠に基づいてがん看護を実践し, 役割モデルとなる	5月~2月
	コミュニケーションスキル	経験5年以上看護職員	自己育成	コミュニケーションスキルの実践方法	専門職としてアサーティブコミュニケーションを身につける	9月
	看護倫理Ⅱ	看護職員(倫理Ⅰ受講した者)	自己育成	倫理的問題解決プロセスと意思決定ツール	倫理的問題を明確にするための分析方法を学ぶ	9月
	看護倫理Ⅱフォローアップ	看護職員(倫理Ⅱを受講した者)	自己育成	倫理的問題の事例検討	倫理的問題を明確にし, 看護実践を再考できる	12月
	指導者研修	指導者の任を担う予定のある職員	教育	看護基礎教育の現状, 教育方法, 指導方法の実際他	看護部の指導者として必要な知識等を学ぶ	2月
	実地指導者研修	プリセプターの任にある者		新人教育, 指導方法の実際, メンタルサポート技術	新人指導の実際について考える	4月・6月・12月
	臨床指導者研修	実習指導コンサルティングナース		実習指導者のあり方・指導方法	効果的な実習指導を調整・展開できる方策を考える	5月
	教育方法:コーチング	卒後4~5年目看護職員および希望者		コーチングの基本スキル	学習意欲・就業意欲や主体性を高めるポジティブフィードバックの手段を習得できる	7月
	看護研究(2)	看護研究(1)受講者	研究	研究テーマの絞り込み, 研究計画書の作り方	日常業務における研究課題を明らかにし, 研究計画書の作成を学ぶ	10月
	看護研究(3)	研究課題を持っている看護職員		看護研究方法論	実践課題の解決につながる様々な研究方法を学ぶ	11月
災害支援ナース育成	経験5年以上看護職員	管理		災害医療, 災害看護, 災害支援ナースの活動	災害医療と看護の基礎知識を習得する	12月
ラダーレベル指定なし	褥瘡予防	卒後2年目以上看護職員	看護実践	褥瘡予防の知識, 褥瘡予防ケア	①褥瘡発生のメカニズムを学び予防ケアの重要性を理解する。 ②健康な皮膚を保持し褥瘡発生を予防する技術を学ぶ。	7月
	認知症看護	既卒および中途採用看護職員		認知症看護:患者理解編/看護編	行動・心理症状(BPSD)を理解し, 適切な援助を学ぶ	11月
	看護過程(2)			事例検討	事例を通して看護過程を検証する	10月
	看護過程(4)	レベルⅡ以上		事例検討	事例を通して適切な看護診断を導く方法を学ぶ	7月・1月
	コミュニケーションスキル:英語	卒後2年目以上看護職員	病院における基本的実践英語	コミュニケーションスキルを英語を通して学ぶ	5月~12月	
	文章作成スキルアップ	看護管理者	レポートの書き方・添削の方法	①正しく伝える力を身につける ②事実を適切な文章で表現できる力を身につける	10月	
	教育担当者研修	教育担当者の任にある者またはその任を担う予定のある職員	教育	部署におけるプログラム作成	教育担当者としての能力を育成する	別途お知らせ
管理者	管理者研修(1)	新任看護師長・副看護師長	管理	病院・看護部の運営他各部門の責任者として必要な知識	病院・看護部の運営に関する理解を深め, 各看護単位の責任者としてその運営を推進する能力を高める	5月
	管理者研修(1)フォローアップ	新任看護師長 新任副看護師長		事例検討	経験した事例を通し, 問題解決能力を高め, 看護管理実践に役立てる	別途お知らせ
	管理者研修(2)	看護師長・副看護師長		看護管理	管理について学びを深める	11月

*レベルは申請するラダーレベルを示している